

七三だより 臨時号

第1回学校評価結果



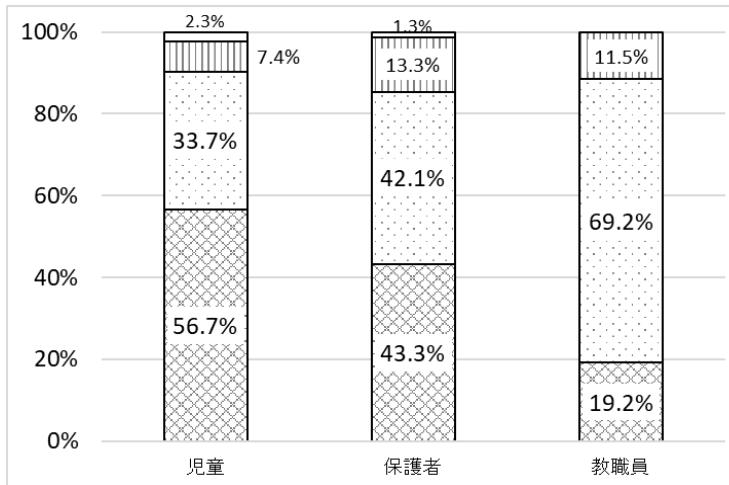
令和6年11月15日
京都市立七条第三小学校
校長 中野 真吾

大変お忙しい中、第1回学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果についてまとめましたので、お知らせいたします。

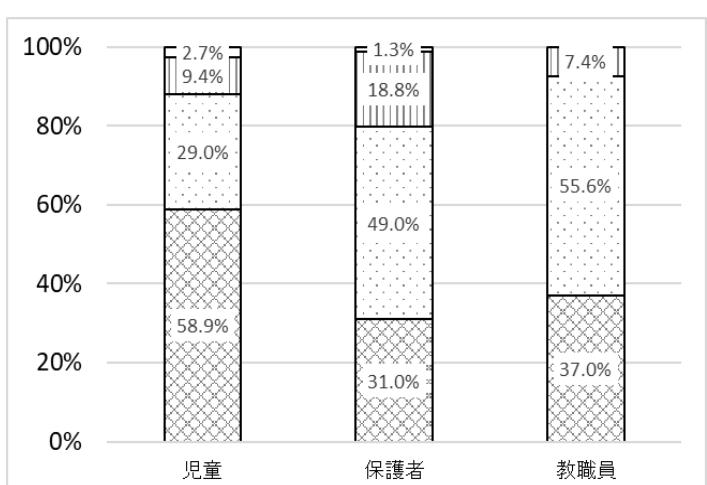
そう思う(教職員;よく出来ている) 大体そう思う(教職員;大体できている) あまりそう思わない(教職員;あまり出来ていない) そう思わない(教職員;出来ていない)

保:保護者 教:教職員

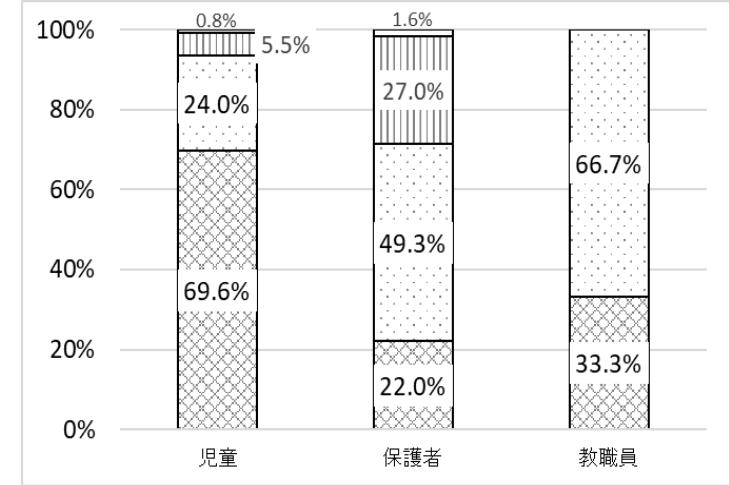
I. 学校は楽しい(教:学校生活のあらゆる場面において子どもが主体的に取り組める活動を意図的に行っている)



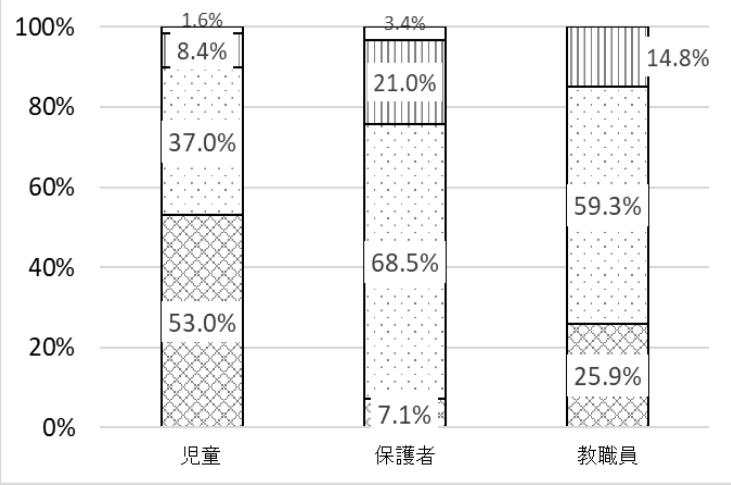
5. 自分から進んで挨拶をしている(教:子ども・地域・保護者へ、自ら進んで相手に届く挨拶を行い、範を示している)



I3. 自分の持ち物や学校の物を大切にしている(教:ものを大切にする指導を行うとともに、率先して班をしめしている)



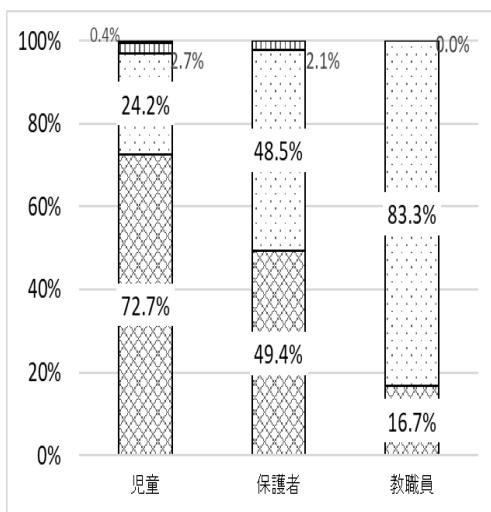
I6. 友達や周りの人に対して、言葉づかいに気を付けている(保・教:正しい言葉づかいを指導するとともに、自らも場に応じた言葉づかいをしている)



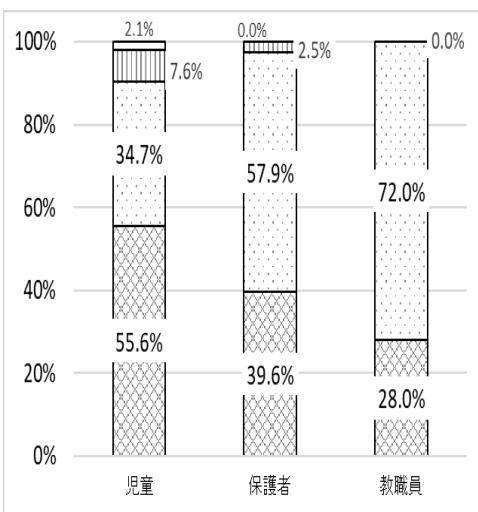
【学校について】

「学校は楽しい」の質問に対して、『そう思う』『大体そう思う』と回答している児童が全体の約90%に及んでいます。また、保護者の約85%が同様に感じています。教職員には、「子どもたちが主体的に取り組める活動を行っているか」を尋ねたところ、約88%が『そう思う』『大体そう思う』と答えていることから、子どもたちの主体性を考え、それを意図した教育活動を行っていることが、学校生活の充実に寄与していると考えることができます。一方で、約10パーセントの教職員が『そう思わない』『思わない』と回答していることから、学校教育の様々な場面で、子どもたちの主体性を目的とした指導を推進させていきたいと思います。

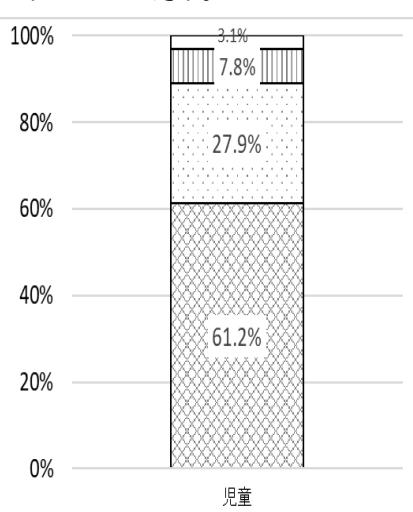
9. 相手を大切にしている(教:一人ひとりを徹底的に大切にする学級づくりを行っている)



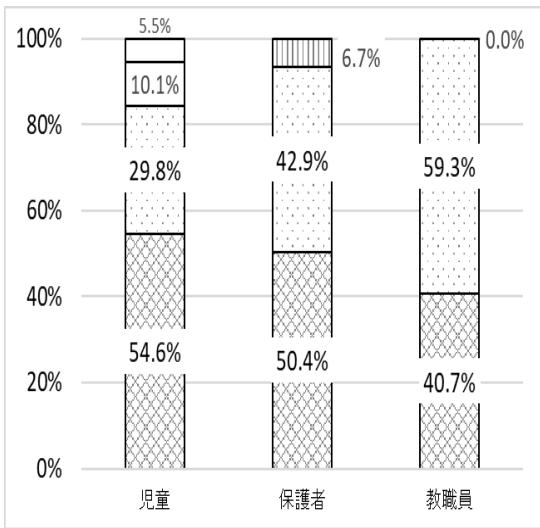
10. 相手から大切にされている(教:互いに、思いを受け止め、認め合うことのできる学級づくりを行っている)



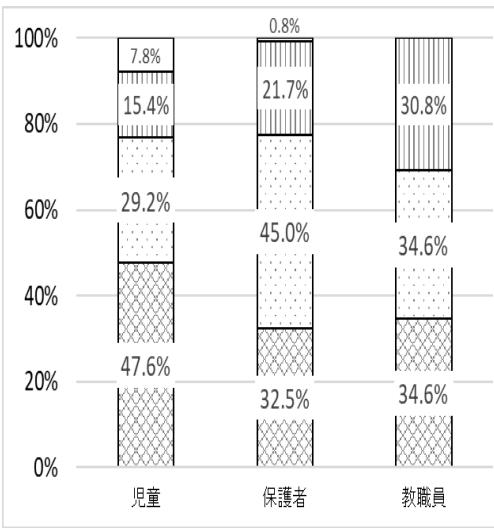
12. お家人や学校の大人は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



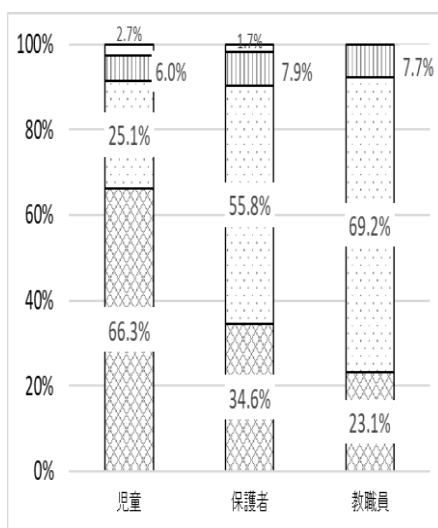
11. 自分にはよいところがある(保・教:子どものよいところを本人に伝えている)



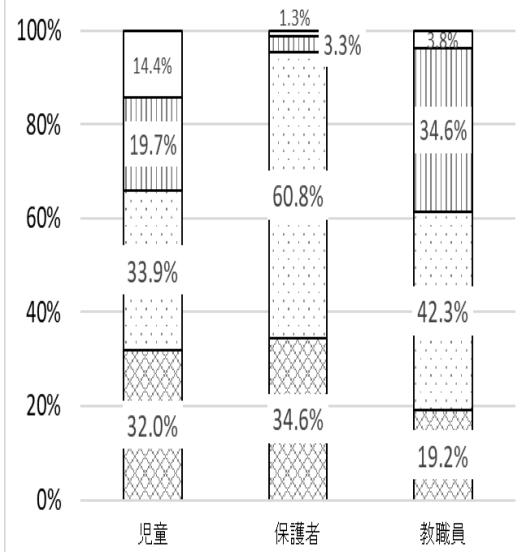
8. その日の学校や学級での出来事について話している(教:学校での様子などを、HPや予定表を活用して保護者にはたらきかけをしている)



19. 自分の話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしている(教:子どもたちの話を聞き、子どもや保護者の願いや思いを把握している)



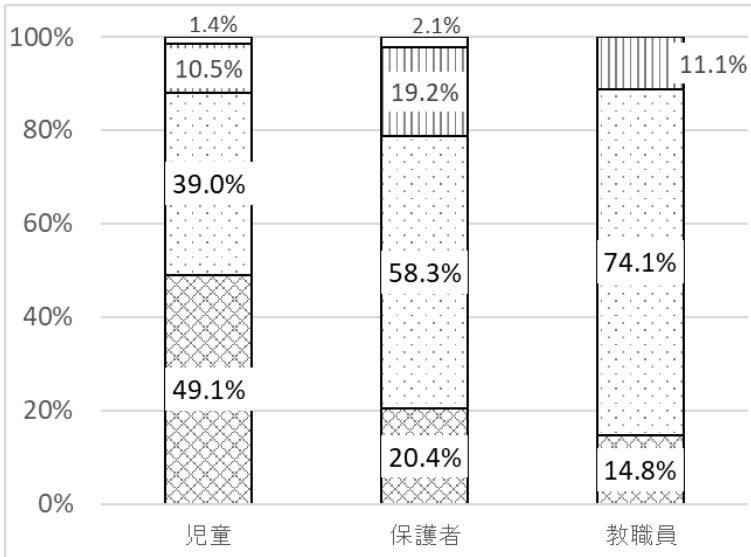
20. PTAや地域の行事に参加しているか



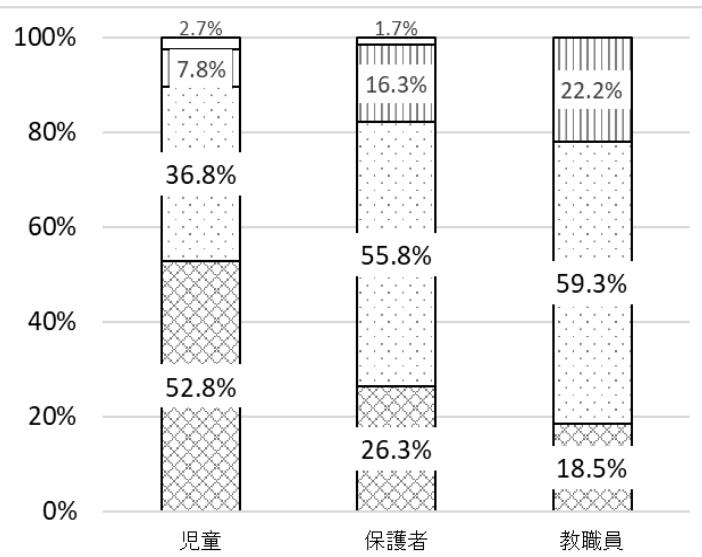
【自己肯定感について】

「自分にはよいところはある」の質問に対して、約 85% の児童が『そう思う』『大体そう思う』と回答しています。また、「お家人や学校の大人は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」「話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしている」についても、同様の結果が出ています。いずれも、昨年よりも上昇しており、多くの児童の自己肯定感が高まっています。また、結果からもわかるように、保護者や指導者が児童の話をよく聞き、よい部分を認めていることと、自己肯定感との数字が類似していることから、学校でも家庭でも前向きな声かけをすることが大切であることがわかります。自己肯定感と自己指導能力は、相互に関係し合っているため、日々の何気ない声かけこそがとても大切だと考えます。

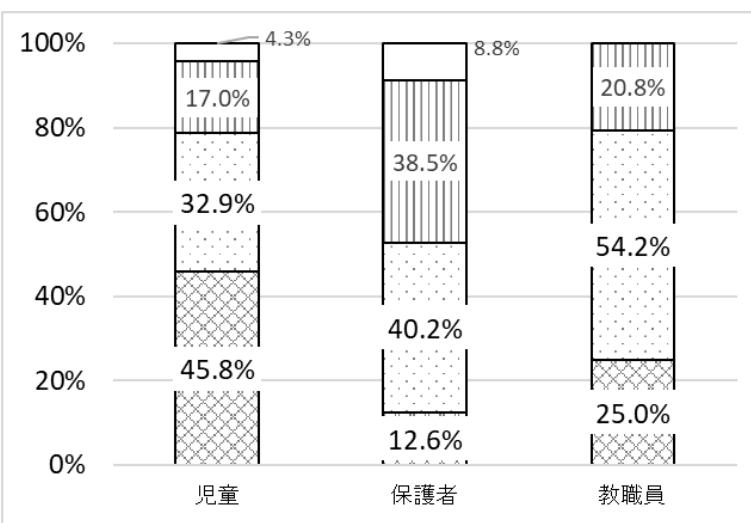
2. 授業が楽しくよく分かる(教:基礎・基本の学力の定着を図る取組を行っている)



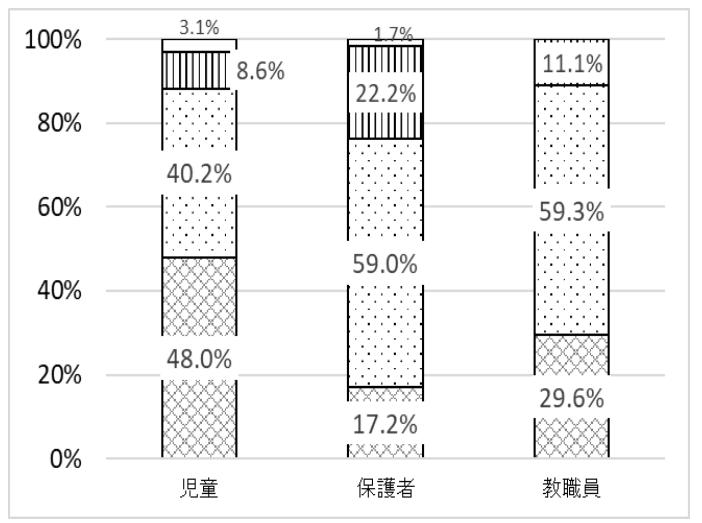
3. 授業中進んで学習に取り組んでいる(教:子どもたちが主体的に学ぶ授業の工夫を行っている)



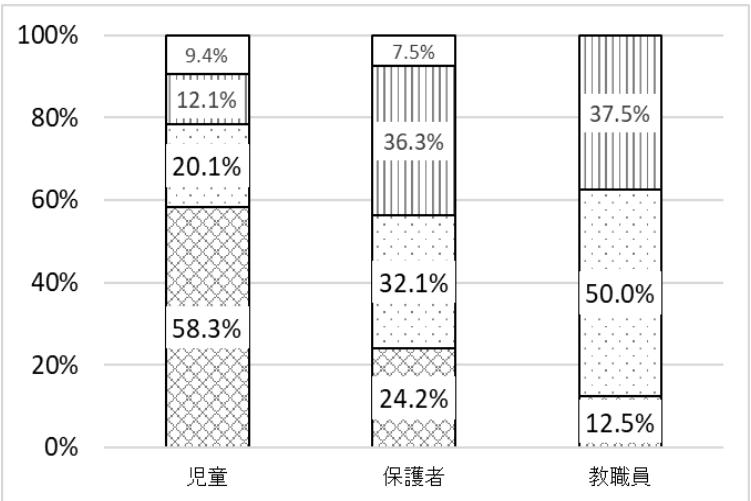
6. 家庭での計画的な学習をしている(教:子どもが計画を立てて進んで学習するよう、家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っている)



17. 学習予定表を使って、時間割をそろえたり、学習のふり返りをしたりしている(教:子どもたちにとって、落ち着き居心地のよい教室・学校であるための環境整備を行っている)



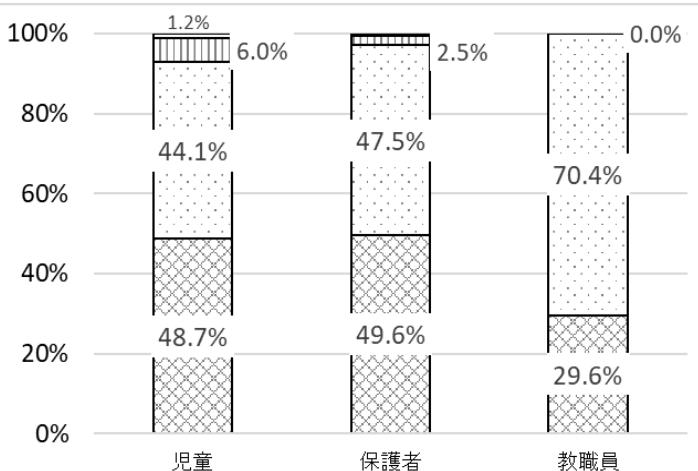
7. 読書は好きか(教:読書が好きになるように、工夫を行っている)



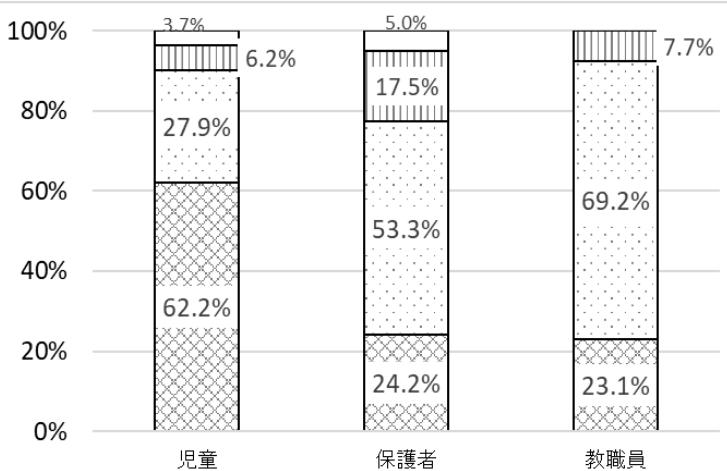
【学習について】

「授業中に進んで学習している」の問い合わせに対して『そう思う』『大体そう思う』と回答している児童が約90%にも及んでおり、学習意欲の高さがうかがえます。また「授業が楽しくよくわかる」の回答も同様に近い数字であることから、指導者の授業の工夫が、形となって表れてきています。一方、保護者や指導者の回答は、児童より少し低い数字であることから、保護者に対して授業の様子をお伝えしたり、指導者の教材研究をより充実させていったりすることで、より楽しくわかる授業の発展へつなげることができると考えます。

14. 学校や学級の約束や決まりを守っている(保・教・決まりを守る大切さについて話している)



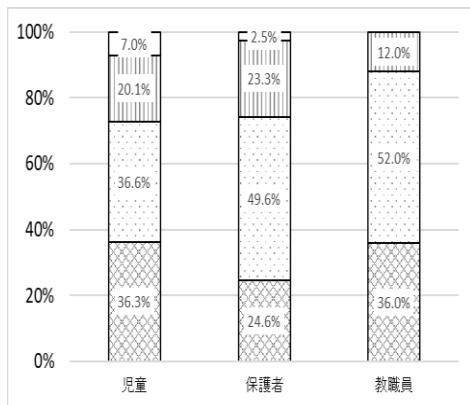
15. スマートフォンやタブレットなどを使うときのルールや約束を守っている(教:GIGA 端末活用時に意識して指導しているか)



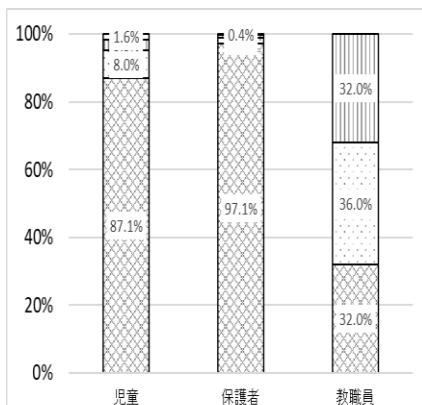
【ルールや情報モラルについて】

「学校や学級の約束や決まりを守っている」の質問に対しては、高い数値を示しているものの、「スマートフォンやタブレットやタブレットなどを使うときのルールや約束を守っている」の質問では、保護者を中心にやや数字が低下しています。端末を利用する際は、子どもたちと一緒にルールを決め、決めたルールを徹底して守っていくことが情報モラルへの意識向上やSNSなどのトラブル抑制につながるポイントであると思います。

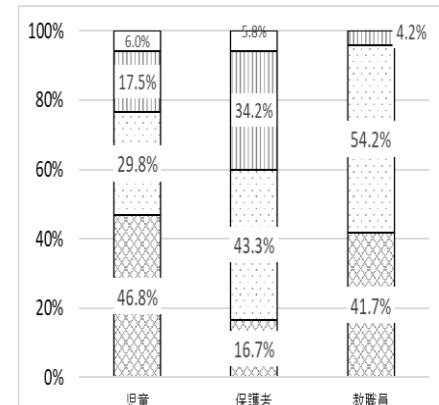
4. 早寝・早起きをする生活リズムが身についている(教:生活習慣の大切さを子どもたちに指導している)



21. 朝ごはんを食べて学校に来ている 18. お家の手伝いをしっかりしている(教:保健、食に関する指導の大切さを保護者にはたらきかけている)



18. お家の手伝いをしっかりしている(教:家の手伝いや当番活動を責任をもつてやりきるようにはたらきかけている)



【ご家庭での生活について】

食の大切さについてでは、日頃から食育の学習を通じて伝えており、ほとんどの児童がきちんと朝ごはんを食べて登校しています。ご協力ありがとうございます。生活リズムに関する質問では、『そう思わない』『思わない』という回答が、児童・保護者とも3割近い数値が示されていることが気になります。特に睡眠時間と上記でも述べた、端末機器についての関連は大きくなりがちであるため、その部分のルールづくりが急務だと考えます。生活リズムと健康・学習への意欲は、関連し合っているため、家庭との連携をさらに進めていきたいと思います。

今後の方向性と取組について

アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートの結果から、学校教育目標の「未来を拓く、めざそう!なりたい自分」に向けての取組が一定進んできていることがわかりました。これにより、学校の取組全体の方向性は、正しいということを実感することができました。一方で、一定数満足していない数値も見られることから、アンケート結果を通して、保護者・地域の皆様とより一層連携を図りながら、子どもたちの自己実現に向けて、教職員一同チーム一丸となって励んでいきたいと思います。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします